

私立大学図書館協会東地区部会研究部 2013 年度第 8 回運営委員会議事録

日 時：2014 年 3 月 14 日（金） 13：00～15：10

場 所：桜美林大学 町田キャンパス 崇貞館 6 階 会議室 D

出席者：吉田千草（明治大学）・阿部尚子（清泉女子大学）・坂元真澄（東京都市大学）・
吉井由希子（慶應義塾大学）・高橋晶子（早稲田大学）・鈴木直子（明治学院大学）
佐々木俊介（桜美林大学）・山本浩二（東京農業大学）

【事務局】齋藤雅彦・宇野直美（専修大学）

オブザーバー：菊池亮一・山崎京子（明治大学）・山田雅子（慶應義塾大学）

議事概要

1. 2013 年度研究分科会報告大会参加状況及び研究分科会への意見・感想等の集計結果について
資料 1 に基づき、研究分科会報告大会の報告がされた。
2. 2014/2015 年度研究分科会会員参加申込状況について
資料 2 に基づき、更新担当より申込状況の報告がされた。5 分科会の次期活動が確定、3 分科会では 3 校 3 名の申込がなかったため次期活動ができない可能性がある。
また以下の補足と問題点が挙げられた。
 - ① 活動が確定した分科会のうち 3 分科会は新規会員のみであること
 - ② 複数の分科会代表者が分科会運営上の支障を避けるため参加申込者を不承認としたこと
 - ③ 分科会会員の募集要項に可否の記載がなかった ML 会員を不承認としたこと
 - ④ 分科会の成立条件となる 3 校 3 名が、新規分科会のみにも適用されるか既存の分科会も含むか明確でないこと
 - ⑤ 会員数と許諾会員区分について募集要項に明記する必要があること上記④を受けて、会員が 3 名に満たなかった分科会には、現代表者に次期活動の意思確認をすることとした。
今後は、加盟館へのメール配信等広報活動を行い分科会参加者を募集することとした。
3. 2014 年度研修分科会会員参加者申込状況について
資料 3 に基づき、第一次締切分申込者 10 名を参加者として許諾したことが報告された。
4. 2013 年度研究部活動報告及び中間決算について
資料 4-1～3 に基づき説明がされ、承認された。
前回資料 4-2 を「予算執行状況」とすることが承認されたが、「中間決算」で間違いではないとわかったため「中間決算」と名称を戻すこととした。
5. 2014 年度研究部活動計画（案）及び予算（案）について
資料 5-1～2 に基づき説明がされた。
資料 5-1、2. 活動計画(1)運営委員会に“活性化に向けて検討を開始する”との 1 文を加えることとした。
資料 5-2 予算（案）は、収入の部では研修会参加費について、加盟館への会費還元という見地から参加費は無料とし、意見交換会参加費分を一人当たり 1,000 円とすることとした。

同様に、研究会参加費の意見交換会参加費も一人当たり 1,000 円とすることとした。支出の部では、分科会助成金を据え置きとし、特別助成金を増額することが承認された。

6. 2013 年度研修委員会活動報告について
資料に基づき研修委員長より 2013 年度研修会について報告がされた。
7. 次期研修委員（2014/2015 年度）について
資料 7 に基づき研修委員長より説明がされた。委員長は常任 4 校で持ち回りしており次期は明治大学となる。
8. 研究分科会マニュアル 2014 年度版（案）について
資料 8 を各自確認しメールにて修正点等連絡することとした。
9. 2014 年度研究部運営委員会日程（案）について
資料 9 に基づき説明がされた。
10. 2014 年度研究講演会の講師と演題（案）について
資料 10 に基づき、講師は決定しているが演題は未定であることが報告された。
11. 2013 年度東地区部会役員会（第 2 回）について
資料 11 に基づき次年度の予定等が報告された。
12. 2014 年度私立大学図書館協会スケジュール（案）について
資料 12 に基づき説明がされた。
13. 研究分科会会計所為及び助成金の改定について
資料 13 に基づき、分科会助成金は据え置きとし、特別助成を増額するというので修正案を作成したことを説明した。このような案を作成することとなった過程については、第 3 回(臨時)運営委員・研究分科会代表者合同会議の席で部会長校より説明いただくことので承された。

以上、議事を全て終了し、閉会した。